

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】住吉・住之江・街道合計 8,685 万円

契約利用者数 住吉 36名、街道 22名、住之江 28名（2月17日現在）

※住吉には、リズムキリン利用者も含まれます。

23年度は、4月からで定員を埋める事が出来ておらず、住吉・街道で平日2名ほど空きあり。中高生での希望者がなかなか見つからない現状で、小学生も視野に空きを埋める努力を続けて行きます。また、5月からコロナ特例対応での収入保障が終了する見通しで、欠席対応（特別参加へのお声かけ）などを実施し、減収を防ぎ収入確保に力を入れて行きます。

2. 職員（育成・研修など）

住吉・住之江区放課後等デイ事業所等連絡会【すみすみ】や自立支援協議会研修での外部研修に参加出来る機会を多く持つ。デイ勉強会を今年度も実施し、ZOOMの活用などでパート・アルバイトへの参加率を上げる。日々の打ち合わせや振り返りを行ない、対応方法などの統一や、支援の質の向上、改善などを行なう。職員で学んだ PECS を現場で実践し、パート・アルバイトスタッフへ引き継いでいく。強度行動障害支援者研修（加算の為）や、サービス管理責任者等の研修（5年ごと）。

3. 事業内容（おもな企画）

長期休暇期間は、毎日企画を実施し、調理・外出・工作などに参加して社会経験を積んでもらえるようにする。昼食調理や防災訓練は、各デイで毎月実施。季節の企画で、ハロウィン・クリスマス・節分・バレンタインなどの企画を行ない、季節を感じられる体験を提供する。また、企画等の写真をSNSに挙げ、活動報告、新規利用者やパート募集に繋げる。家族との連絡やり取りを密に行っていくため、情報発信のツール「LINE公式」を活用していく。（登録者を増やす。）防災訓練で、実際の被災想定で住之江から徒歩で総センまで避難したり、住吉での一泊体験（状況付与）など実施する。

年間事業計画（予定）

月	事業・行事等	会議	研修計画（内部・外部）
4	春休み（デイ午前中から） メンバーさん新体制 4月1日 第5土曜日特別企画	デイ会議 支援計画会議	すみすみ研修
5	ゴールデンウィーク開所（休日時間）		デイ勉強会・強度行動障害支援者養成研修・すみすみ研修

6			デイ勉強会
7	夏休み（デイ午前中から） 夏デイ外出		すみすみ研修
8	夏休み（デイ午前中から）	デイ会議	
9・ 10	9月第5土曜日特別企画 ギャングスター企画（手紙など） 10月おやじの会	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会・児発管研修 すみすみ研修
11	おやじの会		デイ勉強会
12	冬休み（デイ午前中から） サンタ企画		すみすみ研修
1	冬休み（デイ午前中から）		
2	2024年度メンバーさん決定 卒業パーティー（高3対象） おやじの会		
3	春休み（デイ午前中から）		

2023年度 じらふ長居（発達障がい児専門療育・児童発達支援等） 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 収入合計 20,281,994円

○専門療育機関業務の収入 17,178,380円

○じらふくらの収入 2,907,006円 *2022年度専門療育利用者フォローアップ事業

○ぱびぶぺ kidz の収入 196,608円 *専門療育外の親子療育

○開放日等

【支出項目特記事項】

- ・じらふ長居室内のダウンライトの交換。特殊な機材となっているため、一つ交換するのに3万円相当の経費が発生する。2022年4月から借りているため、いつ交換時期か不明だが大量に交換する場合、大幅な経費が発生する可能性がある。

2. 職員（育成・研修など）

- ・2023年度も引き続き、スタッフ（常勤、非常勤全て）間で、事業の目的や内容を共有できる場を定期的に持ち、支援の実践、振り返り、見直しを行っていく。
- ・常勤職員間では、【支援の中で大切にしていること】について意見交換、共有を引き続き行うと共に、地域の利用ニーズについても考える場を持ち、多くの方に利用していただける

形を考えていきたい。

- ・ すみすみ研修。受講の調整を行い、支援スキルの向上に努める。
- ・ 法人研修、外部研修などから必須研修、支援スキル向上に必要な研修をピックアップして受講の調整を行う。
- ・ 現場内での勉強会も計画的に実施していく。専門療育では自閉スペクトラムに特化した支援内容となるため、メンバーさんに合わせた活動を計画たてる中で、必要な支援スキルについて取り上げ、スタッフ間で学ぶ場を作っていく。
- ・ サビ管研修、強度行動障がい研修については該当者がいれば適宜受講を調整する。

3. 事業内容（おもな企画）

・ 専門療育機関

大阪市からの委託での実施。1年間の期間限定の利用となる。

定員 40 名(未就学 20 名、学齢児小 1~3 年 20 名)。全 20 回利用、保護者研修 10 回実施。

・ じらふくらぶ

専門療育終了後のお子さま、ご家族様向けのフォローアップとして、2023 年度より実施。2022 年度 33 名のご利用の方のうち、24 名の方にお申込みしていただく。月 2 回~1 回程度の利用で調整。

・ ぱぴふぺ kidz

専門療育以外での親子療育。専門療育の対象年齢より上の方、専門療育前にプレ的に利用したい方など、それぞれのニーズに合わせての利用ができる枠。

- ・ ご家族向けの集まる場を開催。お住いが遠方の方も多いため、ZOOM を使ったオンライン懇親会を定期的実施する予定。ママレモンズ、おやじの会への参加についても進めていく。

2023 年度 じらふヘルパー（居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援） 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

- ・ 2022 年度と同様。

* コロナ禍ではあるが、少しずつ依頼も増えつつある。

登録ヘルパーが確保できれば、収入につながる。

【支出項目特記事項】

- ・ 2022 年度末で退職する登録ヘルパー 8 名。（うち、2022 年度稼働者 4 名）
- ・ 感染防止対策備品・災害備蓄（事務所：モバイルバッテリー等）

2. 職員（育成・研修など）

- ・法人研修、すみすみ研修を中心に参加。（登録ヘルパー含む）
- ・「目指せ支援者の会（通称めざ会）」「PECS（H）」の継続実施。（毎月1回ずつ実施）
他部署職員、登録ヘルパーへの声かけ。顔の見える関係づくり。
- ・担当者会議への積極的な参加。PECS や支援の実践につなげる。
- ・法人内の利用者関連部署と会議：学びを深め、支援について具体的にすすめる。
- ・登録ヘルパー向け勉強会実施（ZOOM+現地）：毎月実施（8月はお休み）
職員が講師を担い、人に伝える部分でのスキルアップを目指す。
- ・ヘルパー通信、SNS を活用し、情報発信を行う。
- ・ヘルパーとのミニケース会議開催。統一した支援を目指す。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・週1回、ヘルパーMT の実施：情報共有・テーマ検討
 - ・月4～5回、支援計画会議実施：情報共有・支援統一を目指す
 - ・部署内防災訓練：登録ヘルパーを含めた、状況付与訓練など
 - ・粘り強くキャンセル対応、事務仕事効率化、時間外削減のために工夫を行う。
 - ・ガイドヘルパー講座実習生の受け入れ。
 - ・ヘルパー公式LINE（利用者）の運用開始。
 - ・テレッサ電子化（報告書についても検討）
- <人材確保>
- ・ガイドヘルパー養成講座受講生への声かけ
 - ・大学への広報・SNS の活用。

2023 年度 障がいグループホーム（住吉） 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

だいくかのん・あると・れんと合計 5,509 万円

かのん 304 空きの補充による増収

【支出項目特記事項】

<住吉>

- ・住宅内の各所（風呂、トイレ、エアコンなど）の修繕を計画的に行っていききたい

2. 職員（育成・研修など）

社会福祉法人ライフサポート協会
F00-505R5（150127 改訂）

- ・ だいくかのん（男性利用者）あるとれんと（女性利用者）の支援、実務の業務分担利用者担当の決定
 - ・ 夜勤者確保は永続的
 - ・ 世話人、夜勤者の質の向上（勉強会の実施等）
- 事業内容（おもな企画）
- コロナの状況を見ながら月1回程度の小規模な企画の開催
（カラオケ、昼食会、簡単なおやつ作り、少人数の外食など）
- ・ 地域清掃への参加、地域住民との関りが持てるような企画（提案）

2023年度 障がいグループホーム（大領） 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

ひびき・かなで・NEW ひびき 合計 5,084 万円

【支出項目特記事項】

- ・ 10年経ち 家電関係の不具合が増えている。（電子レンジ、冷蔵庫、エアコンなど）

2. 職員（育成・研修など）

- ・ 新たな人員配置により業務分担を図っていく。
専従職員の増によりチーム形成・共働・連携のスキルアップが必要不可欠。
業務引継ぎのマニュアル化を図り各職員が（相談し合いながら）自立して行える力をつけていく。
- ・ 前年度は研修への参加がほとんど行えておらず、スキルアップや視野を広げ多角的に支援が行えるような研修に参加を目指す。
- ・ 災害時の対応についても BCP 作成等しながら検討整理していく必要を感じる。
- ・ 住吉 GH との共働 継続すべき部分と、各々で動いていく部分との精査が必要。
また夜勤者の確保、定着、質の向上については GH 全体の課題である。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・ GH 複数名での旅行・外出企画、クリスマス会など多人数の集まる企画については、次年度の体制でもまだ難しく感じる。コロナ禍での社会情勢からも然り。
状況を見極めて、季節に応じた小規模な企画（個別企画）から実施していく。

2023年度 部門 大領であい短期入所 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

¥300,000

区分6の方1名（1泊：1178単位）区分5の方1名（1泊：1032単位）

毎月1名ずつ のみの受け入れを想定。

2. 職員（育成・研修など）

- ・女性利用者の受け入れ場所・方法の課題が残る。
- ・GH夜勤者が、1人でSS利用者も対応になるのか
その体制で受け入れ可能な利用者の選定はどのように行うのかなど検討課題がある。

2023年度 こころの相談ネットふうが（地域活動支援センター・指定相談支援）事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

- ・大阪市地域活動支援センター事業（生活支援型）委託金額 22,308,000円
- ・計画相談/地域移行：約540万円

2. 職員（育成・研修など）

職員配置：地域活動支援センター・計画相談支援 常勤4人(全員兼務) 非常勤2人

研修：法人内研修にて支援実践を中心に学ぶ。外部研修では相談支援、権利擁護支援に必要な幅広いテーマで学ぶ。また行政や相談機関係の主催研修は関係性構築、ネットワーク強化も目的としている。自部署においては当法人の実践行動指針をテーマに日々の業務について振り返る機会を継続。

育成：日々の相談支援の情報共有を通じたOJTなどでケースワーク、ソーシャルワークの質を向上。SW/PSW/NSなどの実習生受け入れ

事業内容（おもな企画）

地域活動支援センター：週1回のプログラム、月1回程度の外出企画で交流を図る。

計画相談支援：地域移行支援の再開を期待したい

その他委託事業：地域生活移行推進事業など積極的に受託していきたい。

防災取り組み：BCPのブラッシュアップおよび法人内外への防災啓発活動継続

地域自立支援協議会：地域協働、ソーシャルアクションを官民・他機関協働で対応

社会福祉法人ライフサポート協会

F00-505R5（150127改訂）

年間事業計画（予定）地域活動支援センター企画

月	内容	月	内容
4	お花見	11	紅葉
5	プラネタリウム	12	映画
6	外食企画	1	初詣
9	防災センター	2	社会見学
10	外食企画	3	外食

2023年度 オガリ作業所（生活介護） 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 8,500 万円

22 年度はメンバー2 名の退所が影響するなど、予算をわずかに下回る予定。今年度はメンバー2 名の獲得を目指し、22 年度の予算を据え置きとする。

※22 年度平均稼働率 24 名に対して、人員配置体制加算Ⅲを維持するには 9.2 人の常勤換算が必要であるが、現在、【常勤専従】 3 人+【常勤専従でない】 5.2 人の計 8.2 名と下回っている。常勤職員 2 名をさらに配置する必要がある。

【支出項目特記事項】

- wi-fi 工事 26 万円
- 身障トイレのウォシュレット設置、洋式トイレ 2 か所の修理工事 15 万円
- 個室スペースの照明器具の増設工事 44 万円
- タブレット 2 台購入 10 万円
- フロア設備メンテナンス（蛍光灯・壁・机・椅子等の補修・買い替え） 40 万円

2. 職員（育成・研修など）

●各班の環境整備の見直しを図っていく。特に、いどり班は多様性のあるメンバーが在籍しており、個々のメンバーに合った居場所になるようなフロアの構造化を目指す。

●支援の質の向上を目指し、2 点の強化を図る。①個別支援計画書の評価と次期支援計画書についてチームで話し合う機会を作る。②支援の視点の幅を広げていけるように、様々な手法を身につけていくための内部研修や、すみすみ研修などで学んだことの伝達研修を行う。

●強度行動障がい関連（行動援護従事者養成研修含む）の研修に関しては重度障がい者加算の取得だけでなく、現場実践でも活用していくことを目指し、未受講の常勤職

員を中心に受けてもらう予定。

3. 事業内容（おもな企画）

●外出・季節ごとのイベント企画

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4月	祝日事業	10月	前期懇談
5月	祝日事業、外出	11月	祝日事業
6月	外出、モニタリング	12月	クリスマス会、モニタリング
7月	モニタリング	1月	祝日事業、モニタリング
8月	モニタリング	2月	祝日事業、モニタリング、後期懇談
9月	祝日事業、前期懇談	3月	祝日事業、後期懇談

2023年度 オガリ作業所（就労継続支援B型） 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

2,800万円

【支出項目特記事項】

- ・パン工房扉修繕工事(20万円)・総セン地下陶芸室外側の溝のフタ修繕

2. 職員（育成・研修など）

- ・製パン・清掃・縫製の技術習得。各利用者の特性、支援内容の充実をはかる
- ・すみすみ研修の受講により支援方法を習得し、各利用者支援に活かす。

3. 事業内容（おもな企画）

2022年度利用者アンケートにより、イベント企画について、利用者にアンケートを実施している。結果から2023年度には就Bにてイベント企画を実施したい。

らふら～の会として、縫製班利用者、ボランティア数名と一緒に年数回、手芸・お菓子作り・お出かけのプチ企画を実施。

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4月	お花見	5月	製パン班イベント(帝塚山音楽祭)

6月	支援学校実習生受入れ	7月	清掃班 WAX がけ
8月		9月	清掃班 WAX がけ
10月	製パン班建国小販売 製パン班イベント(かぼちゃまつり)	11月	清掃班外出
12月	清掃班 WAX がけ 製パン班イベント(クリスマスケーキ) クリスマス企画	1月	初詣
2月	製パン班イベント(バレンタイン) 個別支援計画モニタリング すみよし区文化フェスティバル	3月	製パン班ふらっと楽しむすみよし 年度末三者懇談

2023年度 住吉総合福祉センター障がい通所事業部（生活介護）事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 8,500万円

※人員配置加算（2：1）を取得するために常勤換算で12人の確保が前提となります。
（今現在の次年度見込みで10.2人なので最低でも2人必要となります。）

【支出項目特記事項】

- ① エアコン清掃費9万（1台3万×3台） ②器具什器（机・椅子等・家電）30万
③ トイレや雨漏り等の建物修理費用 50万 ④外出・企画関連 20万

2. 職員（育成・研修など）

- ・強度行動障害関連（行動援護従事者養成研修含む）を2023年度内に1名を受講する予定である。
- ・その他、すみすみ研修等
- ・防災訓練

3. 事業内容（おもな企画）

外出（外食）企画（時勢に応じてテイクアウト等で）

年間事業計画（予定）

月	内容	月	
4	花見	5	GW（祝日事業）
6	外出	7	避難訓練
8	職員研修	9	懇談

10	懇談・秋外出	11	秋外出
12	クリスマス企画・避難訓練	1	正月企画
2	懇談	3	懇談

2023年度 総セン障がい通所（就労継続支援B型）事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

2,453万円：（一昨年度から続いている精神的な不調や引きこもり等の長期欠席による利用実績数減）状況に合わせた柔軟なサービス利用を行えるよう在宅利用等を活用しつつ、新規利用者も増やし稼働率向上に繋がります。

【支出項目特記事項】

- ・べらしお福祉店浄水器フィルター交換等…約70,000円（交換期限です）
- ・べらしお福祉店グリストラップ改修工事…683,705円

2. 職員（育成・研修など）

- ・大人の〇〇塾再開（状況に応じリモート等での実施）
- ・一般社団法人らぁ祭をはじめ、他企業や他機関、他事業所との連携強化及びネットワーク拡大

3. 事業内容（おもな企画）

- ・ラーメン移動販売の再稼働
- ・他店舗とのコラボ営業やコラボ商品の企画販売
- ・プリント事業の商品ラインナップ拡大

年間事業計画（予定）

祝日は可能な限り臨時営業（ラーメン店）を実施予定。

月	内容	月	内容
4	イベント出店	10	イベント出店
5	イベント出店	11	イベント出店
6	イベント出店	12	イベント出店・外食研修・大掃除
7	イベント出店	1	イベント出店
8	イベント出店・外食研修	2	イベント出店
9	イベント出店	3	イベント出店

2023年度 部門 大領地域の家であい(生活介護) 事業計画書

1. 収支(予算)

【予算収入と根拠】

7,400万円

2022年度から利用者1名減となり、減収額は約150万円の見込みです。

2. 職員(育成・研修など)

2022年度は例年に比べ研修参加を増やすことができた。2023年度においても利用者支援に直結する研修を中心に研鑽を積める体制を作っていきます。その先には、「なんとなくの支援」「職員の主観的な考え」ではなく、「本人アセスメントを主とした根拠に基づく支援」をより深められるよう努めます。

また、2023年度のテーマに「常勤と非常勤の情報共有と支援統一」を掲げます。統一した支援を実施するために、部署内の職員全員が共有できる仕組みを再度構築し、チームとして支援していくことを目指します。

3. 事業内容(おもな企画)

①個別支援の強化

②企画行事の充実

2023年度はこの2点を重点的に事業運営に努めていきます。

① 個別支援の強化

利用者個別のスケジュール、構造化の環境をより整備し見通しのもてる生活を目指します。その中で、利用者それぞれに合ったツール等の提供で発信する力をエンパワメントし、意思決定支援の一助としていきます。

② 企画行事の充実

コロナ禍において制限されてきた企画行事を再開していきます。また季節行事を中心に今までにはなかった企画を検討・実施していくことで、メンバーさんの楽しみを増やしていくことを目指します。

以上2点を中心に、利用者の安心・安全と「るーぶが楽しい」と思ってもらえるよう取り組んでいきます。

年間事業計画(予定)

月	内容	1	2	
5	春の外出	1		クリスマス会
6	プチ喫茶企画	2		正月企画(初詣)
9	個別懇談	3		プチ喫茶企画、節分企画
11	秋の外出			個別懇談

2023年度 大領 COCORO (生活介護) 事業計画書

1. 収支 (予算)

【収入 8,020 万円】

●予算の根拠としましては、昨年度の契約人数から 2F のつなぐに 2 名 (5 日/週) 増える想定で、算出。加えて、人員配置体制加算 (Ⅲ)、重度障害者支援加算 (Ⅰ)、リハビリテーション加算を実態に照らし合わせ、計上。

1F のひなたに関しましては、介助技術や看護師の出勤状況によって受け入れることができる利用者を見極める必要があるため、現状を維持しつつ、スタッフ体制や力量を押し量った上で新規メンバーの契約を検討したいと考えています。

※2F のつなぐは平均利用者数 21 名ですが、慢性的にお休みされるメンバーがいる為、受け入れ可能と判断。休みが続くメンバーには「訪問加算 (2 回/月)」で様子伺いを行っていく。ひなた・つなぐ共に、スタッフ体制を注視しながら年度途中の新規利用者受け入れも視野に入れていく。

【支出項目特記事項】

※現場スタッフとの相談のもと、計上しております

●ロベリア (寝台浴) の保全点検費用 【60,600 円】

●修繕・修理費用 【500,000 円】

※車両の修理費用やロベリアの点検時に発生するかもしれない修理費用を含め想定

●痰吸引等研修費用 【200,000 円】 ※2 名分

●環境整備費用 【400,000 円】

※パーティション・フロアマット・スタッフの休憩場所整備等・経年劣化している備品の新調等【合計支出金額 ◎120 万】

2. 職員 (育成・研修など)

副主任の退職に加え、中堅職員 2 名の退職が控えており、現場業務の引継ぎやケースの引継ぎを可能な限り円滑に進めていきたいと考えている。

また、現場の体制も見直し、つなぐ・ひなたの現場職員が日中相互に入れ替わることができる人員配置を構築したい。同時に 1F ひなたでの介護技術向上を目指し、現場支援員の『痰吸引資格』の資格取得を目指したいと考えている。看護師との密な連携を継続し、全体的にブラッシュアップしていくことを意識し、つなぐ・ひなたの連動を視野に入れ、COCORO スタッフとしてチーム全体で成長を目指す。

●研修等研鑽の環境としては、すみすみ研修や適宜、外部研修への受講を行なう。必要に応じ、事業所見学も実施したいと考えている。

3. 事業内容（おもな企画）

- 外出企画：人員体制を考慮した上で実施したいと考えている。
- テイクアウト企画：年1回実施。和洋中など希望別で実施予定。
- ボランティアの積極的受け入れ：パフォーマンスボラを活用し、室内プログラムの充実を図る。

年間事業計画（予定）

月	内容	10月	祝日事業、前期懇談
4月	歓迎会、祝日事業	11月	テイクアウト企画、祝日事業
5月	祝日事業	12月	クリスマス会
6月	パフォーマンスボラを活用イベント	1月	新年会、祝日事業
7月	祝日事業	2月	祝日事業、後期懇談
8月	祝日事業	3月	1年お疲れ様会、後期懇談
9月	外出、祝日事業		

2023年度 つみき（生活訓練）事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

生活訓練 929万0622円（初期加算、訪問は含まず） 生活訓練5名で契約
生活介護 2630万4573円 13名と契約。

【支出項目特記事項】

事務作業での要望

○つみき内の職員用パソコンで、共有フォルダのようなものを設置したい。法人内のオールフリー等とは別建ての社内ネットワークのこと。つみき内のネットワーク環境を整えたい。扉修理2枚

2. 職員（育成・研修など）

コンサルテーション年3回 30,000円 *質の向上のため

CAT Kit（感情コントロール）基礎研修 : 1名 53,000円（キット込み）

CAT Kit（感情コントロール）基礎研修 : 1名 10,000円（基礎研修のみ）

強度行動障がい者支援者養成研修（基礎・実践）: 1名 10,400円 *加算のため

コンサルテーション年3回 30,000円 *質の向上のため

社会福祉法人ライフサポート協会

F00-505R5（150127改訂）

3. 事業内容（おもな企画）

1、2年生：調理、おんがく、ダンス、ヨガストレッチ、せいかつ、こころと体、グループワーク、等

3、4年生：おしゃれ、ライフワーク、せいかつ、グループワーク、スポーツ、ダンス、実習等

年間事業計画（予定）

月	内容	10月	オープンキャンパス
4月	入学式	11月	10周年記念会
5月	性の実践報告会	12月	クリスマス会
6月	オープンキャンパス	1月	学びの場交流会
7月	企画	2月	発表会&報告会
8月	つみき旅行		
9月	懇親会	3月	卒業式

2023年度 じらふ・泉北(放課後等デイサービス) 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

収入：2,312万円

根拠：曜日によるばらつきはあるが、ほぼどの曜日も定員で埋められる見込み。スタッフ体制も常勤の入れ替わりはあるものの、概ね前年度とかわらない予定。

【支出項目特記事項】

- ・リース範囲外の車両の整備やメンテナンス費。（大きな修理等は想定していない）
- ・内装に関して…スチールラックの転倒防止策や、お風呂スペースのドア交換(鍵が外からかけられるようにする)
- ・その他、防災に関する備品や備蓄品購入

2. 職員（育成・研修など）

- ・部門内研修…新しい常勤配置予定のため、PECS 研修ををレベル1受講スタッフによる伝達研修を行う。他のパートスタッフについても、都度支援に関するスタッフ研修を毎月1回実施。リスク、感染症対策、権利擁護、防災については必ず実施する。
- ・外部研修…「すみすみ研修」はじめ、堺市(市の主催や、市の委託事業「あい・すてーしょん」主催のもの)やさかい放課後連絡会、その他の団体が行う研修はスタッフ全員に周知し、希望に応じて参加補償する。基本的に zoom 等オンライン対応があれば

オンラインにて参加をすすめ、交通費や移動時間の削減を図る。

・パート対象個別面談…人事評価も含め、パートさんの個別懇談を年1回程度実施し、日常的な疑問や不安、健康面の把握、その他意見交換等できる機会を持つ。

・その他…①泉北三拠点(じらふ泉北、はぴな、るぴなす)でスタッフ応援体制を整え、不測の事態に対応できるようにしておく。②今後、若い人材を確保に向けて、健康福祉短期大学へのアルバイトやボランティア活動の呼びかけを行う。

3. 事業内容 (おもな企画)

- ・事業内企画…毎月のおやつ作り、休日は昼食づくりや外出などのイベント企画。長期休暇中の企画は継続実施。
- ・地域とのつながりづくりに向けた活動…るぴなす前広場で行われる地域活動イベント(イースター、ハロウィンなど)に参加。

年間事業計画 (予定)

月	内容	10月	ハロウィンイベント
毎月	おやつ作り、創作活動など	11月	みかん狩り@美樹の園
4月	春休み企画、お花見外出	12月	クリスマス企画、年越し企画
5月	GW 企画(クッキング、外出など)	1月	初詣、書初め、冬休み企画
7月・8月	夏休み企画(水遊び・夏祭りなど)	2月	豆まき
9月	総合避難訓練	3月	総合避難訓練、春休み企画

2023年度 みんなのマーケットるぴなす (就労継続支援B型) 事業計画書

1. 収支 (予算)

【予算収入と根拠】

(収入) ¥21000 (千円) 月 1750 (千円) × 12か月

平均稼働12～13名となる見込み。⇒現利用者さんの通所回数増を見込む。

【支出項目特記事項】

店舗内 清水基金助成金を活用 (機械120万)

環境整備20万～50万 (内装見込)

2. 職員（育成・研修など）

基本的な研修の他、事例検討会や他機関との連携について学ぶような研修の実施。
（他機関連携・利用者さんの力をいかに引き出すのか・業態変更の可能性を視野に入れた適切なアセスメント実施のための研修等）

3. 事業内容（おもな企画）

地元の果物等を活かした自社商品の開発、販路の拡大を図っていく予定。

ふるさと納税にも出店予定

店舗活動は勿論の事、加工については今年度からみかんの皮むき、ジャム作り等をIHコンロで作る等、利用者アセスメントを行っていく。

また、出来る限り店舗運営の方向は続けながら、堺市からの情報を基にスケジュールを進めていく

年間事業計画（予定）

月	内容
4月22日	たかくらイースター
7月	たかくら夏祭り
10月	たかくらハロウィン

（作業）

月
1月 みかん収穫作業
5月 甘夏・日向夏収穫作業
8月末 ぶどう収穫作業
9月 栗拾い作業
12月 みかん収穫作業

2023年度 はぴな（生活介護） 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 5,750 千円

【支出項目特記事項】 メンバー用机、椅子の補強修理、もしくは購入。

2. 職員（育成・研修など）

・正職員・パート職員共に毎月の研修を計画的に行う。

・パート職員を 2024 年度の利用者募集応募状況を見て採用活動を行う。2 名の利用者増につき常勤換算 1 名のパートスタッフを採用。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・就労継続支援と生活介護の間の繋ぎを担う班を 2024 年度に作りたいと考えており、そのための試験的な実践を行う。（みんなのマーケットるびなすとの協働）
- ・季節ごとのイベント（水遊び・ハロウィン・クリスマス等）
- ・外出企画（公園、ピクニック、レジャー施設等）
- ・実践報告（法人内、外部向け）に積極的に参加し発表を行う。

年間事業計画（予定）

月	内容		
4	お花見	12	クリスマス会
5	お出かけ企画	1	初詣
7~8	水遊び・プール		
10	ハロウィン		

随時、南楽園や授産活動支援センターの斡旋による、作業を請け負い工賃を獲得する活動を行う。